

# 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

## お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

## ■ 設定のしかた

・凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。

## ■ 凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



### オート便器洗浄

自動で便器洗浄する/しない  
**オート便器洗浄**

- 1  メニュー戻る MENU/RETURN を押す
- 2 ▲ で「オート機能」を選ぶ  
▼
- 3 ▲ で「オート便器洗浄」を選ぶ  
▼
- 4 ▲ で「オート設定」を選ぶ  
▼
- 5 ◀▶ で「入/切」を選ぶ  
▼  
押す

オート設定を切に設定しました  
(戻るとき→  戻る/RETURN)

自動で便ふたを閉めたあと便器洗浄する/しない  
**便ふた閉止後洗浄モード**

- 1  メニュー戻る MENU/RETURN を押す
- 2 ▲ で「オート機能」を選ぶ  
▼
- 3 ▲ で「オート便器洗浄」を選ぶ  
▼
- 4 ▲ で「便ふた閉止後洗浄モード」を選ぶ  
▼
- 5 ◀▶ で「入/切」を選ぶ  
▼  
押す

便ふた閉止後洗浄モードを切に設定しました  
(戻るとき→  戻る/RETURN)

### オートふた開閉

自動で便器洗浄するまでの時間を定める  
**水が流れるまでの時間** ※1・2

- 1  メニュー戻る MENU/RETURN を押す
- 2 ▲ で「オート機能」を選ぶ  
▼
- 3 ▲ で「オート便器洗浄」を選ぶ  
▼
- 4 ▲ で「水が流れるまで」を選ぶ  
▼
- 5 ◀▶ で「短い/標準/長い」を選ぶ  
▼  
押す

水が流れるまでの時間を長いに設定しました  
(戻るとき→  戻る/RETURN)

自動で便ふたを開閉する/しない  
**オートふた開閉**

- 1  メニュー戻る MENU/RETURN を押す
- 2 ▲ で「オート機能」を選ぶ  
▼
- 3 ▲ で「オートふた開閉」を選ぶ  
▼
- 4 ▲ で「オート設定」を選ぶ  
▼
- 5 ◀▶ で「入/切」を選ぶ  
▼  
押す

オート設定を切に設定しました  
(戻るとき→  戻る/RETURN)

※1 「オート便器洗浄」を「切」に設定しているときは、この操作はできません。

## ■ ご使用のタイプを選択してください





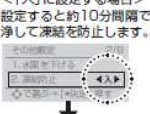




凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に「H」なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に「H」あり

流動方式

ヒーター付便器・水抜併用方式

# 流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）

便器の水たまり面を下げる (水の乾ね回り低減や検便のときなど) <b>水面下げる</b>	便器とウォシュレットの水を 一定の間隔で自動で流す <b>凍結防止</b>	電子音を 閉らす/開らさない <b>電子音</b>
<p>1 <input type="checkbox"/>メニュー/戻る 押す MENU/RETURN 押す</p> <p>2 ▲で「その他設定」 ▼を選ぶ</p>   <p>押す</p>		
<p>3 ▲で「水面下げる」 ▼を選ぶ</p>  <p>↓</p> <p><input type="checkbox"/> 押す</p> <p>便器内の水が流れて 低い水位でたまる 《設定完了》 (戻るとき→ <input type="checkbox"/>メニュー/戻る)</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、再度設定してください。</li> </ul>	<p>3 ▲で「凍結防止」 ▼を選ぶ</p>  <p>4 ◀▶で「入/切」 を選ぶ</p> <p>&lt;「入」に設定する場合&gt; 設定すると約10分間隔で便器洗 浄して凍結を防止します。</p>  <p>↓</p> <p><input type="checkbox"/> 押す</p> <p>数分間隔で 便器洗浄します 設定する? ◀はい▶ ▶いい▶</p> <p>↓</p> <p><input type="checkbox"/> 押す</p> <p>凍結防止を 入に設定しました (戻るとき→ <input type="checkbox"/>メニュー/戻る)</p>	<p>3 ▲で「電子音」 ▼を選ぶ</p>  <p>4 ◀▶で「入/切」 を選ぶ</p>  <p>↓</p> <p><input type="checkbox"/> 押す</p> <p>電子音を 切に設定しました (戻るとき→ <input type="checkbox"/>メニュー/戻る)</p>

# ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1** 水抜栓を操作して、給水を止める
    - お願い
      - ・止水栓は開けたままにしておいてください。  
(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)
  - 2** 押す
    - ・給水管の圧抜き
  - 3** 電源プラグを抜く
  - 4** 配管の水を抜く
    - ①便座・便ふたを開ける
  - 5** 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める
    - ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、  
②ドライバーで確実に締める
    - ②「カチッ」と音がするまで押し込む
  - 6** 電源プラグを差し込む
    - ・「運転」ランプが点灯する
  - 7** すっきりパネル(右)を取りはずす
  - 8** タンクの水を抜く
    - ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
  - 9** 便座温度を「高」にする
    - ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく
- 再度ウォシュレットをお使いになるときは  
・再通水が必要です。
- お知らせ
- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
  - ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。  
(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

○注意 ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

## 水抜きのしかた

- 1** 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき  
止水栓または元栓を閉める
    - ヒーター付便器・水抜併用方式のとき  
水抜栓を操作して、給水を止める
  - 2** 押す
    - お願い
      - ・止水栓は開けたままにしておいてください。
  - 3** 電源プラグを抜く
  - 4** 配管の水を抜く
    - ①便座・便ふたを開ける
  - 5** 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める
    - ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、  
②ドライバーで確実に締める
    - ②「カチッ」と音がするまで押し込む
- 凍結のおそれがあるときは  
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
- 再度ウォシュレットをお使いになるときは  
・再通水が必要です。

## 再通水のしかた

- 1** 止水栓または元栓を開ける  
または、水抜栓を操作して、給水する
  - ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2** 電源プラグを抜いているときは  
電源プラグをコンセントに差し込む
  - ・「運転」ランプが点灯する
- 3** ①ノズルから水を出す
  - (1)手または腕で着座センサー部に触れたまま、  
(2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す  
・水は紙コップなどで受けてください。
  - (3)手または腕を着座センサー部からはずす
- 4** ② 押す
  - ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。  
(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)  
給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)
  - 残水が凍結して水が出ないとき  
・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。(RS1以外)